

第5次高砂市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

令和6年度温室効果ガス排出量

Ⅰ 一般事務系由来の温室効果ガス総排出量

公用車使用を含む高砂市役所の事務事業全体から排出する温室効果ガス排出量を、2030(令和12)年度までに基準年度2013(平成25)年度比で51%削減することを目標としています。

2024(R6)年度の実績は12,167 t-CO₂で、基準年度から32.3%の削減となっています。

【基準年度】 2013(H25)年度		【実績】 2024(R6)年度		【目標年度】 2030(R12)年度	
排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)	削減率(%)	排出量(t-CO ₂)	削減率(%)	
17,977	12,167	▲32.3	8,809	▲51.0	
(内訳)事務事業 17,709	11,986	-	-	-	
公用車 268	181	-	-	-	

2 燃料・エネルギー種別ごとの使用量及び温室効果ガス排出量

2030(令和12)年度の温室効果ガス排出量削減目標の達成に向けて、エネルギー種別の用途や、今後の対策等も勘案し、使用量と温室効果ガス排出量の目標を設定しています。

①事務事業

燃料・エネルギー種別	年度	【基準年度】 2013 (H25) 年度	【実績】 2024(R6) 年度		【目標年度】 2030(R12) 年度	
			増減率 (%)	増減率 (%)		
ガソリン (公用車除く)	使用量(L)	1,975	1,789	▲9.4	1,425	▲27.8
	CO2排出量 (t-CO ₂)	5	4	▲10.6	3	
灯油	使用量(L)	726,637	165,778	▲77.2	72,353	▲90.0
	CO2排出量 (t-CO ₂)	1,809	414	▲77.1	180	
軽油 (公用車除く)	使用量(L)	1,228	479	▲61.0	472	▲61.5
	CO2排出量 (t-CO ₂)	3	1	▲60.4	1	
A重油	使用量(L)	72,228	46,040	▲36.3	30,351	▲58.0
	CO2排出量 (t-CO ₂)	196	127	▲35.3	82	
LPG	使用量(m ³)	45,627	26,166	▲42.7	28,201	▲38.2
	CO2排出量 (t-CO ₂)	273	156	▲42.8	169	
都市ガス	使用量(m ³)	1,114,164	1,139,310	2.3	1,277,698	14.7
	CO2排出量 (t-CO ₂)	2,551	2,381	▲6.7	2,926	
電気	使用量 (kWh)	27,669,854	20,348,656	▲26.5	19,362,010	▲30.0
	CO2排出量 (t-CO ₂)	12,451	8,506	▲31.7	4,841	▲61.1

②公用車

燃料種別	年度	【基準年度】 2013(H25) 年度	【実績】 2024(R6) 年度		【目標年度】 2030(R12) 年度	
			削減率 (%)	削減率 (%)		
ガソリン	使用量(L)	67,221	53,821	▲19.9	48,215	▲28.3
	CO2排出量 (t-CO ₂)	156	123	▲21.0	112	
軽油	使用量(L)	40,698	20,091	▲50.6	23,582	▲42.1
	CO2排出量 (t-CO ₂)	105	53	▲49.9	61	
CO2換算排出量(t-CO ₂) (メタン、一酸化二窒素、 ハイドロフルオロカーボン)		7	5	▲25.1	6	▲14.3
温室効果ガス排出量合計 (t-CO ₂)		268	181	▲32.4	179	▲33.3

※ 2024(R6)年度実績の使用量とCO2排出量の基準年度に対する削減率が異なるのは、基準年度と2024(R6)年度のCO2排出係数が異なるため。

③下水道処理及びし尿処理並びに一般廃棄物、下水道汚泥及びし尿汚泥焼却に伴うメタン、
一酸化二窒素及びHFCの二酸化炭素換算排出量

ガス種別	年度	【基準年度】 2013(H25) 年度	【実績】 2024(R6) 年度		【目標年度】 2030(R12) 年度	
			削減率 (%)	削減率 (%)		
メタン	CO2排出量 (t-CO ₂)	114	146	27.8	135	18.3
N ₂ O	CO2排出量 (t-CO ₂)	306	251	▲18.1	294	▲4.0
温室効果ガス排出量合計 (t-CO ₂)		420	397	▲5.6	429	2.0

3 一般廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量

一般廃棄物処理については、2022（令和4）年6月からエコクリーンピアはりまにて2市2町（高砂市、加古川市、稻美町、播磨町）から排出される一般廃棄物（可燃ごみ及び不燃・粗大ごみ）を処理しています。一般廃棄物（プラスチックごみ）の焼却に伴う二酸化炭素排出量については、一般家庭から排出される焼却ごみ量などの状況に左右されることから、2030（令和12）年度削減目標については、2市2町の2018（平成30）年度から2021（令和3）年度までのごみ焼却量推移の割合を基にごみ焼却量を推定し、2021（令和3）年度のごみ質と同じと仮定して算出しています。

区分	年度 【基準年度】 2013(H25) 年度	【実績】 2024 (R6) 年度		【目標年度】 2030(R12) 年度	
		排出量 (t-CO ₂)	削減率(%)	排出量 (t-CO ₂)	削減率(%)
一般廃棄物処理 に伴う排出量	62,128	43,554	▲29.9%	41,892	▲33%